

2010 年度春学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	メディア	学科
担当科目	メディア学基礎演習 I		

<春学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

春学期 2 年生のゼミのチューターを担当させていただき、非常にいい経験になりました。業務としては、レジュメのコピーからゼミ生同様に発言をするまで様々でした。学年が一つしか変わらない 2 年生のゼミをサポートするというので、特段自分に何ができるというわけでもないと思い、ただ 2 年生と同じように先生の授業を受けていたというのが印象です。しかし、視点はもちろん違いました。ただ先生の授業を聞くだけではなく、ゼミ生がどのような関心を持っているのか、ゼミ生みんなが授業に参加しているかなどを見ながらどのようにゼミが動いているのかを少し上からみるような感覚でした。実際、勝野ゼミの方々は、とても熱心で先生が、質問を投げかければ、様々な個性的な返答が返ってきて、活発な議論が行われていたと思います。またゼミは少人数であり、ゼミ生一人ひとりの関心が、そのまま授業の進め方に影響しているようでした。彼女はこのようなことに興味があるからこの文献で今日は授業を進めるといような臨機応変な授業ができていて、これがゼミの有意義な点であると再確認しました。大教室で教科書を広げて聞く授業は多いですが、自分の興味のあるテーマを追求し、先生から直接アドバイスをもらうというゼミの重要性を改めて私自身確認できたと思います。授業のサポートということでしたが、実際私自身学ぶことがたくさんあり、肩肘張らずにゼミ生と同じように学ぶことができ、メディア学についてさらに興味を持つことができました。反省する点も多くありますが、半年間チューターとして貴重な経験ができてよかったです。この経験を糧にし、これからの自分の学生生活に活かしていければと思います。

<今後のチューターまたは先生への提案>